

「復興トマト」(宮城県岩沼市産) 配布会

- 京橋大根河岸に於いて -

日時：8月21日(日曜日) 12:00~15:00

場所：中央区京橋3丁目 大根河岸跡広場

宮城県岩沼市は、東日本大震災により甚大な被害をうけた東北地方太平洋岸のまちのひとつです。津波が浸水した地域では、現在、塩害のために稲作ができず、また、屋敷林が枯れ始めるなど、農業を営む方々にとって厳しい状況が続いています。

このような状況に対し、岩沼市の飯塚さんと八巻さんの畑では、塩害地でのトマト栽培を、NPO 法人農商工サポートセンター、(株) マイファーム、岩沼ロータリークラブ、東京大学 GCOE プログラム「都市空間の持続再生学の展開」の共催、大阪住吉ロータリークラブの協力のもと行うことにしました。苗が植え付けでは多くのボランティアの参加も得られ、その後の農家の努力の結果、震災後初めての作物として収穫の期を迎えることができました。

私たちは、このトマトを「復興トマト」と名付け、市の農業復興に向けての一つの主力商品として開発することを考えています。

今回、この復興トマト第1号の収穫を記念して、江戸期から大正期にかけ、京橋川を經由して各地から野菜が運ばれてきたことから、京橋川再生の会の発案により京橋の大根河岸の跡地広場において、東京の皆様へ、無料で配布することを企画しました。

岩沼市の復興トマトの収穫を皆様と祝いながら、復興トマトのことを一人でも多くの方に知っていただき、今後のプロジェクトに推進に向けての力とさせていただきますと考えています。

<復興トマトプロジェクト>

生産者：飯塚農園、八巻農園(宮城県岩沼市一之郷) / 企画、運営：NPO 法人農商工サポートセンター、(株) マイファーム、岩沼ロータリークラブ、東京大学 GCOE プログラム「都市空間の持続再生学の展開」 / 協力：大阪住吉ロータリークラブ

<岩沼復興トマト配布会>

主催：岩沼市飯塚農園、八巻農園、京橋川再生の会、東京大学 GCOE プログラム「都市空間の持続再生学の展開」

連絡先：東京大学工学系研究科都市工学専攻環境デザイン研究室

教授 石川幹子 (ishikawa@epd.t.u-tokyo.ac.jp)

特任助教 片桐由希子 (yukiko@epd.t.u-tokyo.ac.jp)

Tel/FAX :03-5841-0234 URL : <http://www.epd.t.u-tokyo.ac.jp>

*宮城県では東北大学の協力を得て定期的に県内の農作物の放射能測定を行っており、結果は全て基準値を下回っております。

(宮城県による水道水、農林畜産物、水産物及び牛肉の放射能測定結果 [www.pref.miyagi.jp/gentai/Press/PressH230315-3\(sokutei\).html#suidou](http://www.pref.miyagi.jp/gentai/Press/PressH230315-3(sokutei).html#suidou))

復興!
Tomato

「復興トマト」とは？

宮城県岩沼市の「復興トマト」は、東日本大震災で津波の被害を受けた農地で栽培されたトマトです。

津波が浸水した土地では、塩害により農作物の栽培が困難となっています。「復興トマト」は、西辻さんの佃マイファームが開発したシアノバクテリアとEM菌で土壌の塩分そのものを低減させる画期的な方法により、今回の津波被災地で栽培された第一号のトマトです。

岩沼市の飯塚さんと八巻さんの畑では、塩害地でのトマト栽培を、NPO 法人農商工サポートセンター、(株)マイファーム、岩沼ロータリークラブ、東京大学GCOE プログラム「都市空間の持続再生学の展開」の共催、大阪住吉ロータリークラブの協力のもと行うことにしました。

復興!
Tomato



岩沼市における復興トマト



復興トマトの植え付けの様子（6月4日）

連絡先：

「東京大学工学系研究科都市工学専攻環境デザイン研究室」
教授 石川幹子 (ishikawa@epd.t.u-tokyo.ac.jp)
特任助教 片桐由希子 (yukiko@epd.t.u-tokyo.ac.jp)
Tel/FAX：03-5841-0234 URL：http://www.epd.t.u-tokyo.ac.jp

「NPO法人農商工連携サポートセンター」
http://www.npo-noshokorenkei.jp/ E-mail: info@npo-noshokorenkei.jp
Tel：090-1106-0182 FAX：03-5259-8024